

あがまち

議会だより

阿賀町駅伝&マラソン大会



No.38
2014.11

9月定例会

9月決算報告2・3P
委員会報告4・5P
一般質問6~13P
町民の広場15P

発行：阿賀町議会 ☎0254-92-3112
新潟県東蒲原郡阿賀町津川1580番地
発行責任者：議長 齋藤秀雄
メールアドレス：gikai@town.aga.niigata.jp

「地域と語る会」のお知らせ

11月18日(火)から地域と語る会を下記のとおり開催いたします。
地域と語る会は、議会が、町の現状を各地域に向いて直接町民の皆様へ報告し、地域が抱えている様々な問題点について意見交換させていただき、その声を町政に反映させるために開催するものです。皆様のご出席をお待ちしております。

「地域と語る会」開催日程表

	1班		2班		3班	
11月18日(火)	津川地域	八ツ田農業開発センター 午後7時00分～	三川地域	中ノ沢分校 午後7時00分～	三川地域	川口集会所 午後7時00分～
11月19日(水)	上川地域	相高島集落開発センター 午後7時00分～	上川地域	安用集落開発センター 午後7時00分～	上川地域	三階原集落開発センター 午後7時00分～
11月20日(木)	上川地域	中山集会所 午後1時00分～	津川地域	雲和田会館 午前10時00分～		
	上川地域	小山集落開発センター 午後7時00分～	上川地域	合川・石畑 上川支所 午後7時00分～		
11月21日(金)			上川地域	蟬集会所 午後7時00分～	上川地域	栄集落センター 午後7時00分～

「地域と語る会」班編成表

1班		2班		3班	
班長	神田 八郎	班長	宮川 弘 懿	班長	伊藤 武 一
班員	石田 守家	班員	宮澤 勝見	班員	五十嵐 隆朗
	入倉 政盛		石川 太一		猪俣 誠一
	長谷川 良子		佐久間 勇夫		山口 周一
	齋藤 秀雄		清田 輝子		小池 隆晴

第23回全国市町村レガッタ大潟(秋田)大会 議会チーム シニアの部 6位入賞



参加メンバー

監督	石川太一
C	小池隆晴
S	猪俣誠一
3	石田守家
2	宮川弘懿
B	齋藤秀雄
事務局	徳田広樹



自治功労者賞
おめでとうございます。
この度、地方自治の振興発展に貢献された功績に対して、県町村議会議長会より表彰状が授与されました。
今後一層のご活躍を祈念いたします。
山口周一 議員(在職10年)

編集後記

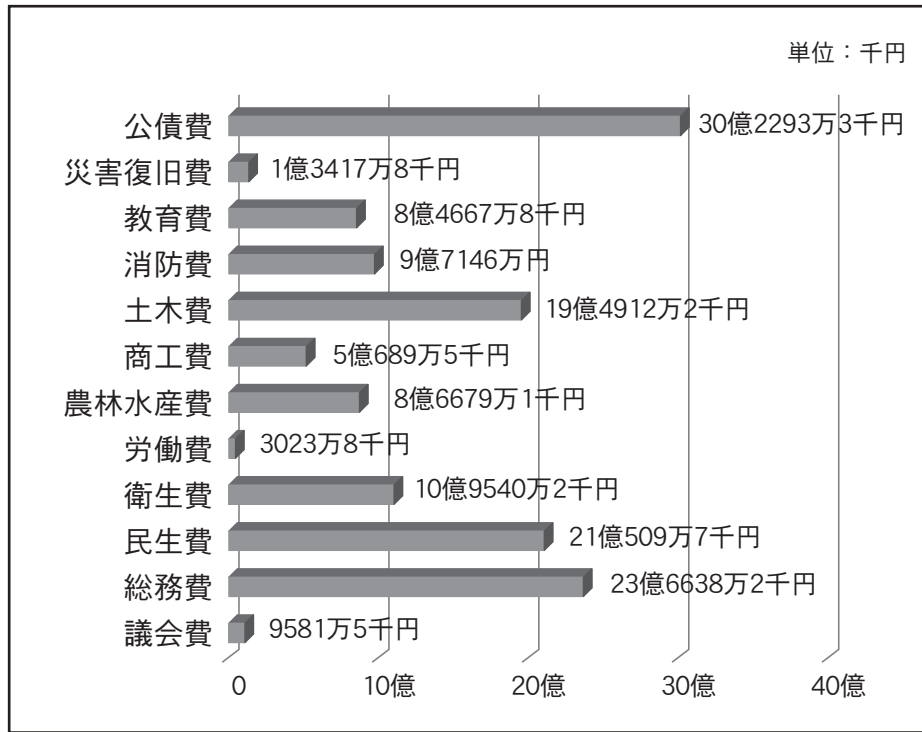
季節とはいえ、台風18号、19号が日本列島を直撃。各地で被害が発生しました。
また、火山災害として戦後最悪の犠牲者を出した御嶽山の噴火により多くの人が亡くなりました。お悔やみを申しあげますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。
町では合併10年、開町400年記念の開催など多くのイベントがおこなわれました。
9月9日から22日まで9月定例会が開かれ、主に25年度の決算審議と26年度の補正予算が審議されました。
町民の暮らしにかかわる町の施策について、活発に質疑し原案通り可決しました。
私たちは、議会の様子をご報告だけわたりやすく、読みやすいものにするという方針で編集にあたりました。
今後もこの立場を貫き、努力を重ねていきたいと考えています。
(入倉政盛)

広報広聴常任委員会

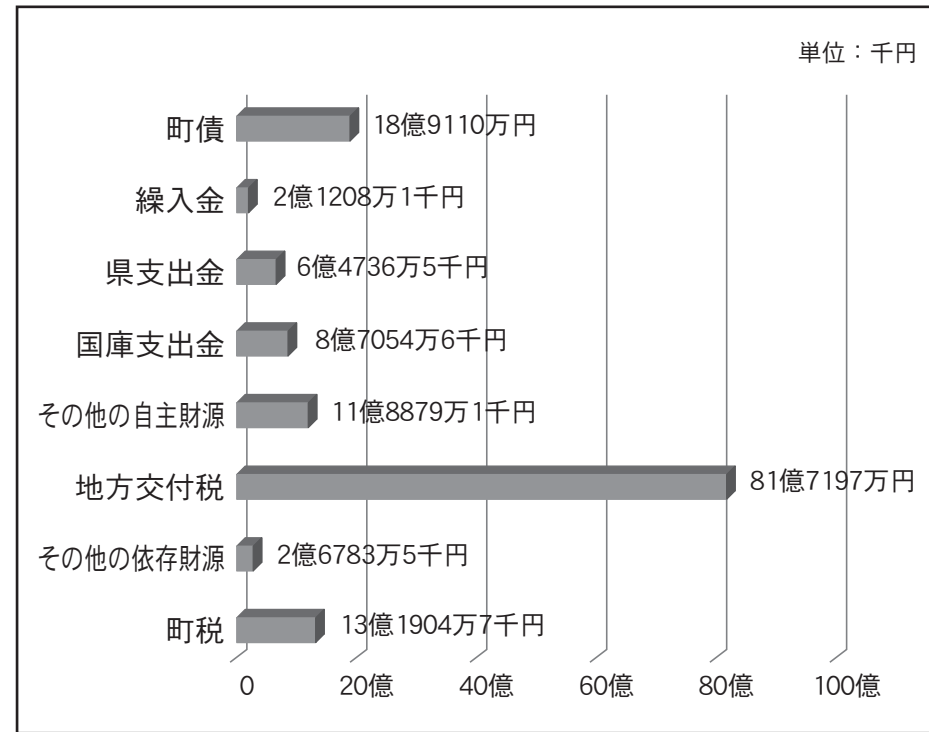
委員長	小池 隆晴
副委員長	石川 太一
委員	神田 八郎
委員	石田 守家
委員	清田 輝子
委員	入倉 政盛
委員	長谷川 良子

ホームページ
<http://www.town.aga.niigata.jp>

歳出総額139億9099万1千円



歳入総額145億6873万5千円



《その他の自主財源》
 ・分担金及び負担金、・使用料及び手数料、・財産収入、・寄附金、・繰越金、・諸収入

《その他の依存財源》
 ・地方譲与税、・利子割交付金、・配当割交付金、・株式等譲渡所得割交付金、
 ・地方消費税交付金、・ゴルフ場利用税交付金、・自動車取得税交付金、
 ・地方特例交付金、・交通安全対策特別交付金

9月定例会

9月定例会は、9月9日から9月22日まで14日間の会期で開かれ、初日に議会の諸報告、町長の行政報告があり、一般質問には7人の議員が登壇し、12件の多方面にわたって論戦を展開しました。また補正予算、財産の取得、条例の一部改正などを審議し、原案どおり可決しました。

25年度一般会計、特別会計などを合わせた9会計について、決算審査特別委員会を設置し、集中審査を行い、すべての決算を原案どおり可決しました。

決算特別委員会審査報告書

審査結果

本委員会は、9月12日、16日、17日の3日間にわたり慎重に審査した結果、原案のとおり認定すべきものと決定した。

なお、各課の審査においては、地域住民の意見、要望を十分踏まえた事務事業の執行と、安全・安心な阿賀町づくりに努力されるよう要望したほか、歳入確保へのさらなる努力を要請したところである。

以上、審査結果とする。

決算審査特別委員会
委員長 宮川弘 認

【平成25年度健全化判断比率及び資金不足比率の公表について】

* 「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により自治体は①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債比率、④将来負担比率の4指標の他⑤資金不足比率を計算し、議会へ報告し、公表することが義務付されています。

健全化判断比率

	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債比率	将来負担比率
阿賀町	—	—	17.4	172.4
早期健全化基準	13.4	18.4	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

* 実質赤字額、連結実質赤字比率がないため「—（該当なし）」で表示しました。

資金不足比率

	資金不足比率		
	水道事業会計	簡易水道事業特別会計	下水道事業特別会計
阿賀町	—	—	—
経営健全化基準	20.0	20.0	20.0

* 資金不足がないため「—（該当なし）」で表示しました。

平成25年度 特別会計

特別会計	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険特別会計	17億8706万8千円	17億6730万2千円	1976万6千円
後期高齢者医療特別会計	1億7962万6千円	1億7922万6千円	40万円
介護保険特別会計	21億4032万6千円	20億8940万8千円	5091万8千円
診療所特別会計	2億7190万8千円	2億6381万3千円	809万5千円
簡易水道事業特別会計	14億8043万7千円	14億7637万6千円	406万1千円
下水道事業特別会計	9億7003万1千円	9億6894万8千円	108万3千円
町営スキー場事業特別会計	7246万2千円	7245万3千円	9千円

水道事業会計	収入額	支出額	差引額
収益的収支	1億2389万822円	1億4751万6573万円	△2362万5751円
資本的収支	0	6624万9円	△6624万9円

* 収入額が支出額に不足する額は当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額・過年度損益勘定留保金で補てんした。

委員会活動レポート

小中高一貫教育と国際交流他

総文社厚常任委員会

委員長 宮川 弘 誌

調査概要

①小中高一貫教育と国際交流
 「小中高一貫校」と「国際交流」について、鹿追町では29年前にカナダのストニープレイン町との姉妹提携が、町の活性化のために町に高校を残すべく魅力ある高校にしなればとの町民一丸の思いが小中高一貫教育となり、「カナダ学」に発展し、国際交流につながっています。

②議会改革

議員一人ひとりの資質を高めるため勉強会をかさねて、議会としての活動を通して町民に働きかけ「住民参加型」の開かれたわかりやすい議会に向かって努力している姿が見えました。

③バイオマスプラント

牧畜農家のマイナスイメージの汚泥から肥料やガス・電

調査概要

①調査日 平成26年6月5日
 調査地 北海道鹿追町
 気エネルギーを再生し、循環型社会に向けて、未来志向の生き生きとした理想郷を見る思いがしました。

調査概要

②調査日 平成26年6月6日
 調査地 北海道帯広市
 外部サービス利用型養護老人ホームの運営
 この養護老人ホームは指定外部サービス利用型施設帯広信楽苑及びヘルパーステーションからなっており、指定外部サービス施設入居者生活介護として全個室100名分あり職員53名で運営しています。このホームは完全個室制で、プライベートの時間もしっかり確保し、医務室には看護師が常駐して利用者の健康相談に応じています。職員と楽しく明るく過ごしている入居者を見て、サービスが行き届いていることを感じましたが、



ファミリーームの養護老人ホーム

調査概要

①町内の民間の福祉施設「あっとほーむすみれ」「奥阿賀大輪の里」「総合サポートセンターほたる」「ハーティプラザみかわ」「グール

わが町のきりん荘もこの様な施設になるよう見守りたい。

「プホーム清川」の運営状況。

それぞれ80%前後の稼働率でしたが、介護等の労働者不足の懸念、介護資格取得、テレビ電話設置等の何らかの助成の要望があった。

②地域包括センターの運営状況

町内福祉施設等の、的確なニーズの把握と情報共有を図り、町民の要望にいかに対応し、使命を果たしていくかが課題である。

③鹿瀬、上川地域の小学校ア

ンケート集計
 複式学級に馴染んでいる学校では複式にあまり抵抗感はないが、「統合すべき」「統合を検討すべき」と考えている父兄が圧倒的に多い現状であった。

通年議会制による議会運営の取り組み

議会運営委員会

委員長 五十嵐 隆 朗

調査概要

阿賀町議会は「議会改革」を進めてきており、県内初の「議会基本条例」を制定し、議員自らに高いハードルを課した。町民の声を反映させ、町民が参加しやすい開かれた議会作りを目指している。

更に「改革」を進め町民の代表機関であることを常に自覚し、信託に応え、使命感を持って職務に取り組むため「通年議会」導入に向けて先進地の視察をした。

まとめ

葛巻町議会では「通年議会」を取り入れ、国県の予算等の審議後スムーズな予算執行のため6月定例会を7月に開催していた。紫波町議会でも有効活用が見られた。阿賀町議会も「テレビ中継」や「通年会期」の導入など今後の議会改革に努力し、町政に町民の意思を的確に反映できる議会確立に向け早急に「通年議会」の導入に向け取り組んでいきたい。

第三セクターの経営改善の取り組み他

産業建設常任委員会

委員長 伊藤 武 一

調査概要

①木質バイオマスの取り組み
 真庭市では民間企業の銘建工業と森林組合等が連携し、枝から樹皮まですべて資源として活用し、地域の発展に貢献していた。

市をあげて、バイオマスの利活用に取り組んでおり全国でも例のない地域と考える。阿賀町の公設民営のペレット工場の運営は後々、施設管理費が町の財政負担の圧迫が危惧される。施設の賃借料等検討すべきと考える。

②朝来市民農園の運営方式

休耕田の棚田を活用し、集落環境との調和を図りつつ交流施設を整備し、都市生活者に農業体験・農村体験を提供すべく「滞在型体験農園施設」を設置していた。

種々な補助制度を利用しての事業だが、約2haの棚田を



木質バイオマス研修(真庭市)

整備し、50m程の農地付きの滞在施設を25区画整備し、周辺には花木の公園もあり美しい農村風景となりました。

③第三セクターの経営改善

多額な負債を抱え、経営改善に取り組んでいる三セク(株)夢こんだの視察。

不採算部門の見直し、光熱費節減などの改善そして何よりも「社員教育」に力点を置き、全社員が経営者との気概での勉強会を実施している。

管理料は受けておらず逆に賃借料払いを前提とのことですが、当町も抜本的改革が不可欠である。



石田守家 議員

問 集落区存続の将来構想は

答 農地管理と交流人口に力



維持できるのか

残存区に力

町長 集落存続の将来構想戸数が最盛期の半分になる集落も出てきている。区の維持に大きな負担が

町の体制は

質問 後継者次第で自由に住所移転、職業の選択、自由社会を求めた結果が今日の集落区状況と考えます。冬期間の生活条件と集落区構成の見直し、個人の所有地、物件管理まで行政範囲でない。集落維持管理、地域活動等困難な区もあります。現状継続に町の転換構想はあるのか伺います。

問 ダム中止、町の認識は

答 地域の振興策等で対応

強いられ、自助、共助、公助、基本原則も失われるほど直面し、公助の役割が増え続けている。集落構成の見直し、冬期間の生活転換等、お住まいの愛着心が強く、町の誘導のみでは行うことはできない。

具体的には、定住対策促進を見直し、農地管理と担い手、外から呼び込む視点で、移住人口、交流人口の

町の目的は

増加に積極的、果敢に取組むことが肝要かと思えます。質問 突然中止の常浪川ダム事業、半世紀も語り継がれ、関係集落が地域移転、付替え県道等で終結した。国の補助ダム事業、当初は県営の総合開発事業でした。

残念な夢

町長 計画から半世紀も要し、極めて困難な課題、期間を克服してきました。阿賀町としても残念、描いた湖面利用による観光、

遠大な夢が崩れ快いはずはございません。コンクリートから人へ、政策転換、県の検証、国からの指示もあります。治水対策は、河道改修を行う方向に現在進めていることはご案内の通りです。地区と行政が、将来像を描き、それらの道を進めて参りたいと考えます。

常浪川治水ダム事業の中止、計画変更は地域振興策に転じられた。



清流は遠い（室谷付近）



9月定例会では、7人の議員から11件の一般質問がおこなわれ、町政全般について活発な議論が行われました。質問と答弁については6ページから13ページです。

1、石田 守家

- ・集落存続の将来構想は
- ・常浪川ダムに町の認識は

6、神田 八郎

- ・旧町村単位のイベントに一考を

2、長谷川 良子

- ・ふるさと納税で活力ある町作りを
- ・プレミアム商品券の購入方法

7、五十嵐 隆朗

- ・土砂災害対策

3、宮川 弘誌

- ・第三セクターの諸問題について

4、小池 隆晴

- ・阿賀野川整備計画は
- ・人口減少問題の戦略は

5、入倉 政盛

- ・医療費一部負担金をなくせ
- ・住民が望む「地域包括システム」の構想を
- ・認可保育所の役割を後退させるな

*一般質問＝議員が執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針について所信を質し、あるいは報告、説明をもとめ又は疑問を質すことをいう。本町議会の場合「1問1答方式」で質問時間は答弁を含め1人1時間以内となっている。



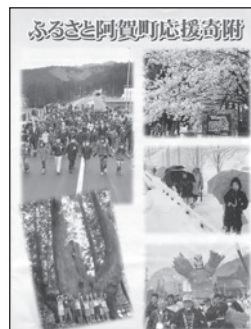
長谷川良子 議員

豊かな自然を活かしふるさと納税で活力ある町作りを

都会の潤っている税制を地方に分散し地方を活性化するため応援したい。生まれ育ったふるさと、心のふるさとに貢献したい人のために創設された制度で都会の人は物よりも豊かな自然の中で住みたい人が多く、わが町も皆さんから知ってもらおうファンやリピーターになってもらうため他の市町村に遅れを取らず早急に取り組みが必要と考える。

質問 わが町も官民、共同し助成金を出し空き家を修理し町所有の室谷かやぶきの里など、ふるさと納税の感謝特典とし、きつねの嫁入りの頃、短期、長期と滞在してもらおう。それが住民税の税収をふやす特産品の拡充と他の市町村に遅れを取らず取り組みが必要で、又ふるさと納税した場合、一部自己負担で残りは自分の自治体に確定申告すれば控除を受け、国は75%位その自治体に交付金を支払う全国で1、600自治体でやっている。億の寄付金を集めている自治体もあり、東京では1000人に1人の割合で行われている。国は今後、所得税の限界税率、現在の10%から20%に考えているようです。今後の方針を伺います。

町長 状況は伺います。平成20年61件で17万5、000円、21年が35件で289万円、22年度22件、23年度49件で30万円、25年度41件で390万円余りです。



ふるさと納税パンフレット

質問 町担当職員は、一人ではいそがしく他の仕事もあり大変だと言った。それで町観光振興機構や地域おこし協力隊に協力してもらってはどうか。

町長 宣伝をかねて取り組みをすることがあっていいと思う。

質問 いろいろな観点を積極的に取り組み対応していく必要があると思う。賛同していきたい。

質問 ふるさと納税のパンフレットが不足している。町役場だけで、3支所や公共の場所に配布もしていない。急ぎあらゆる所に置くべきです。町から東京へ出ている人がふるさと納税し

質問 平成21年3月30日に町は新潟県信用組合に1億9、500万円、太陽信用組合に2、000万円の損失補償契約をいたしました。計画どおりに返済されていますか。

質問 阿賀の里が破産すると、この残金の返済義務が発生します。それと町が貸した残金1億750万円が無価値になり、1、000万円の株券も無価値になります。

質問 平成21年3月30日に町は新潟県信用組合に1億9、500万円、太陽信用組合に2、000万円の損失補償契約をいたしました。計画どおりに返済されていますか。

質問 阿賀の里が破産すると、この残金の返済義務が発生します。それと町が貸した残金1億750万円が無価値になり、1、000万円の株券も無価値になります。

質問 平成20年1月に6、000万円を融資する際、議会の了解なしに、借り入れをしてはならないとの約束であった。大新東へ支払うべきお金を長期借入れした件を町長は知っておりましたか。



ホテルみかわ

第三セクターの経営に危機感を



宮川弘懿 議員



どうなる阿賀の里

質問 阿賀の里が破産すると、この残金の返済義務が発生します。それと町が貸した残金1億750万円が無価値になり、1、000万円の株券も無価値になります。株主有限責任ということでは阿賀の里の債権者には、町に法的責任は一切ありません。しかし、阿賀の里の敷地は阿賀町が地主から借りて阿賀の里に転貸しています。これを更地にして地主に返すとなると莫大なお金がかかります。このような法的責任と町の損失の発生について、阿賀の里の経営陣と危機感

質問 阿賀の里が破産すると、この残金の返済義務が発生します。それと町が貸した残金1億750万円が無価値になり、1、000万円の株券も無価値になります。株主有限責任ということでは阿賀の里の債権者には、町に法的責任は一切ありません。しかし、阿賀の里の敷地は阿賀町が地主から借りて阿賀の里に転貸しています。これを更地にして地主に返すとなると莫大なお金がかかります。このような法的責任と町の損失の発生について、阿賀の里の経営陣と危機感

質問 阿賀の里が破産すると、この残金の返済義務が発生します。それと町が貸した残金1億750万円が無価値になり、1、000万円の株券も無価値になります。株主有限責任ということでは阿賀の里の債権者には、町に法的責任は一切ありません。しかし、阿賀の里の敷地は阿賀町が地主から借りて阿賀の里に転貸しています。これを更地にして地主に返すとなると莫大なお金がかかります。このような法的責任と町の損失の発生について、阿賀の里の経営陣と危機感

高年齢者のプレミアム商品券購入方法の改善を

協議会に申し入れしたい



町内

質問 プレミアム商品券は地域経済の活性化に、町は1、500万円の補助事業で取り組んでいる。先行販売で全世帯にわたるようになってきているが、車がなくなり残されているのは高齢者で、ある意味では、不平等だとも言われています。これを解消するため、高齢者見守り隊や区長、民生委員に対応してもらえないかの考えは。

質問 プレミアム商品券は地域経済の活性化に、町は1、500万円の補助事業で取り組んでいる。先行販売で全世帯にわたるようになってきているが、車がなくなり残されているのは高齢者で、ある意味では、不平等だとも言われています。これを解消するため、高齢者見守り隊や区長、民生委員に対応してもらえないかの考えは。

質問 車のない高齢者は商品券を購入することが出来ない各商工会や町商工観光係に声は届いています。協議会に申し入れたい。

質問 効果的になるものであり、可能な限り置けるように配慮していきたいし賛同したい。

質問 効果的になるものであり、可能な限り置けるように配慮していきたいし賛同したい。



小池隆晴 議員

阿賀野川整備計画 の説明を聞く



築堤は内水問題の解決になるのか

質問 阿賀野川河川整備計画の説明を聞くことができませんでした。最近の雨量は、記録づくめの降り方です。気候変動から洪水になる確率が高くなっているといわれています。堤防が長くなれば、内水問題の所が多くなつてきます。このたびの説明会では、内水には触れていませんがどのように考えているかお聞きします。

町長 阿賀野川圏域流域協議会が立ち上げられました。今後30年間に於ける具体的及び段階的な計画を行うもので、阿賀野川を含めた河川の本格的な整備計画となるものです。内水問題の一つの対策として国土交通

省の排水ポンプ車を要請できます。(が必要とする地域が多くなりますと、排水ポンプ車の台数にも限りがありますので要請があつても状況によっては対応ができない場合があります。)合わせて常設されている樋門の管理を、地域の管理者が責任をもって対応できるように体制が大事かなと考えています。

質問 安全安心を謳うわが町で、このたびの阿賀野川築堤により、内水問題が考えられるところが増えたと思います。何か所ぐらいになつていきますか。

町長 今回の築堤事業に伴い新たに10か所でき、計20か所になりました。

質問 内水問題も本堤を築くことにより起こることで、すから、河川整備計画の中に盛り込んでいただきたいと思ひます。

町長 十分、その辺を把握しながら要請していきたいと考えています。



かつぎ手は居るの・・・

時間はあるのか

質問 6月定例会後の人口減少問題戦略はできましたか。

町長 基本理念としては、人口減少に歯止めをかけて活力ある社会を維持するため、出産や子育てがしやすい社会づくりや、地域の特性を生かしたベンチャーの促進など、地方の雇用機会の創出等積極的に一組にして取り組まないと、なかなか持続可能なものになつていかないと考えています。阿賀町でも少子化対策として、子供の産み育てやすい環境のための様々な助成制度を講じていますが、必ずしも得ていないのではないかと思つています。

見直していきたいと考えています。

質問 人口減少を支える若い人たちが何を町に求めているかアンケートはありますか。

町長 アンケートよりでも困るので、すべての情報、意見を把握しながら対応していくのが基本的な考えと思つています。

質問 阿賀町だけで人口問題を解決できるものではないと思ひます。近隣の自治体と組んでその方向を見つけて、何が最適かと考えますが、どうですか。

町長 全国的な現象であるから意見交換できる自治体は数多くあります。その方向で取り組んでいきます。

質問 大事なものは、若者にどのような魅力のあるまちづくりをやるかということですか。

町長 生活が安心できるよいうな、そういう形に支援が必要になつてくるのではと思ひるので、具体的に考えていきたいと思つています。

子ども医療費助成の一部負担金をなくせ

答 高校まで拡大したばかりなので、今後の推移を見ながら前向きに検討する



入倉政盛 議員

質問 県内の30の自治体のうち23の自治体が中学校まで助成しています。高校までの助成は関川村、粟島浦村、出雲崎町、湯沢町、加茂市の6市町村です。全国は、子ども医療費の負担のない984自治体、一部負担金が785自治体となつています。県内では加茂市、南魚沼市、出雲崎町では一部負担金なしです。全国でも一部負担金なしの自治体が広がっています。少子化が進行する中で重要な施策ではないか。

町長 9月1日から入院、通院とも高校卒業相当年齢まで対象者を拡大したところですが、無料としているのは、現在まで3自治体ですが、1市は対象者が中学生まで、別の自治体では、高校生では第3子以上で阿賀町よりも対象者が狭くなつてきているのが現状です。

議員からは無料化と更なる助成拡大のご意見ですが、高校生まで拡大したばかりであり、前向きに検討します。

住民が望む「地域包括システム」の構築を

答 町の実情に応じたシステムの構築に全力を傾注していく

質問 在宅医療を支えるには24時間対応の訪問看護ステーションの役割が欠かせません。

町長 各医療機関と介護関係施設と連携した形で包括的な在宅医療支援を行っている。

町は新潟県における医療の先進地といわれている。訪問看護ステーションを24時間対応とした場合、患者さんの負担にもなるのでアンケート等で利用者の意向を把握しながら前向きに検討する。

質問 医療ニーズの高い人を受け入れる療養型病床の整備が必要だが。

町長 町は新潟医療圏域に属し、圏域の病床数は基準数を消化しているため、現実的には新たな病床を設けるには、今の段階では不可能な状況です。

質問 要介護1、2の特養への入所制限が行われ、人工透析患者が増加している中、施設入所が制限されている。

老健では在宅酸素療法の患者の入所できる特養の整備が行われているのか。

町長 現在も入所は、要介護3以上の方からとしている施設が多い状況であり、実質的には大きな変化はないと考える。

小規模多機能施設にはまだ余裕があり、来年4月からさきりん荘を特定施設に移行することで、その受け皿となるので、現在は、新たに整備を行うことは考えていない。

在宅酸素療法の患者では町内の老健で受け入れた実績がある。人工透析の方の入所は現実的には難しい。医療関係、担当のケアマネ等と相談する中で、個別対応になると思ひます。



未来の子供達

認可保育所の役割を後退させるな

答 先進的な施設整備、保育環境を整えていく

質問 「子ども・子育て新支援制度」は国の基準を踏まえ、条例を制定することになつていますが。

町長 12月定例会で条例の上程を予定している。子どもたちがのびのび育つように一人一人の個性を尊重した保育運営を行っていく。



神田八郎 議員

問 旧町村単位のイベントに一考を

答 顕著に受けとめて対応したい

質問 今年は今町村合併から10年目になります。例年、旧町村単位でイベントが実施されています。鹿瀬地域では「ふるさと祭り」上川地域では「ふれあい祭り」津川地域では「きつねの嫁入り行列」等です。どうして三川地域ではその種のイベントが無いのか疑問に思っている人が多々あります。合併10年目の節目でもあれば一考を。

町長 かつては三川地域でのイベントはスキー場で実施していました。北海道出身の伊藤さんの「よさこい祭り」も大盛況でしたが、大雨でした。そこで翌年度から悪天候でも大丈夫のようになると阿賀の里の駐車場で実施しました。そういう経緯の中で、近年は町観光協会の誘客宣伝部会が主体となって阿賀の里を会場としてイベントを開催しております。

合併10年の節目なので、町のイベントのあり方につ

いて本当に検討を加えなければとも思っています。一方で各地域のイベントが大変喜ばれてもいます。ご指摘の点については顕著に受けとめて対応してまいります。



よ！日本一（鹿瀬の花火大会）

質問 鹿瀬のふるさと祭りには400万円、上川のふれあい祭りでは500万円そしてきつねの嫁入り行列には800万円、三川の阿賀の里のイベントには360万円程の町の予算が計上されています。しかし三川のイベントは阿賀の里が



今年も上川ふれあい祭りで…

町長 たしかに実施主体が分らない状況かも知れませんが、かつてスキー場での花火のうち上げには多くの来客者がありました。地域の若者の力も必要です。温泉組合の皆さんの協力等も考えられますが、来年にかけたいと思います。

質問 花火にこだわりますが近隣の新発田祭りや五泉祭りに連れて行きたくともいけません。地域に何とか真剣に考えてもらいたいのですが。

町長 最近やはり花火は地域の皆さんには縁遠くなっているようです。三川地域の方も期待しているとしますので考えさせていただきます。

土砂災害対策

全国各地で大規模な土砂災害が起き、多くの犠牲者建物被害等が出ており、これまでの経験則が通じない。阿賀町も67年の羽越災害7・13水害、新潟福島豪雨は記憶に新しい。羽越災害で、三川地域では甚大な被害を受け多くの尊い命が失われた。阿賀町は危険箇所があるので次の質問をする。

避難施設の定期な確認はしているか

質問 避難施設の老朽化が激しいもの、水道、トイレ等の使用は可能なかの確認。

確認を最優先する

町長 避難場所等の再点検を含め、町民の命を守ることを最優先とする方策を講じていく。

ハザードマップの未整備の早期解決を

質問 地域の環境が大きく様変わりをしていくところ



被災状況

もある。また、夜間の避難経路の確認も呼びかけていただきたい。

早急に着手

町長 阿賀町の土砂災害特別警戒区域が、本年度中に指定が確定見込、確定しただい着手予定です。呼びかけは、区長会議など通じ徹底したい。

災害・防災計画書 分厚くわかりにくい

質問 計画書が、専門用語が多くわかりにくい。マップもコンパクトにしては

一番肝心な部分をパンフで周知

町長 ダイジェスト版を作っているが、皆さんに活用していただきたい。足りない部分があるようなので、肝心な部分をパンフでお知らせをと思っています。

土石災害警戒区域は

質問 地域でどのくらいの土砂災害の危険性が高まっている。指定状況は。

指定率82%

町長 8月26日現在、346カ所、うち指定箇所284カ所、今後、指定の必要な箇所は62カ所、指定率は82%となっている。

危険性を知る

質問 阿賀町の地形は急傾斜地や地滑り、水害など自然災害が起こりやすい地形だ。指定をし危険性を知ることが大事と思う。

早急に指定を進めたい

町長 土砂災害警戒区域、

情報は丁寧にきめ細かく

質問 自主防災組織育成強化を、自分の住んでいる場所の安全性の情報提供と、高齢者にもわかるようにしていただきたい。

周知徹底を

町長 自分の住んでいる場所がどういう状況下にあるか周知徹底し、理解できる工夫が必要とおもっている。



被災調査

「土砂災害対策」は万全か



五十嵐隆朗 議員

町民の広場

私もひと言

ひろば



日々の不安を抱えて
波田野正明さん (向鹿瀬区)

私の住んでいる向鹿瀬も徐々に空き家が目立つようになってきました。また、今も居住されている方々も高齢となり日々の生活に大変苦労している印象を受けます。私も消防団の一員として各家庭にお伺いするのですが、一声掛けてから玄関まで出て頂くのが申し訳ない程の時間が経ってしまいます。また、同時に万が一火事になったらという不安を抱かずに

はられません。若い方々の団員も減少し、少しずつ地域の危険が増加している気がします。過疎化が進み、様々な問題が露呈しつつある今、これまでよりも近い関係でいて、ご近所だけで無く地域のために頑張っていこうと思っております。行政と議会の協力をお願いします。



子供たちの成長に想う
阿部絵美さん (黒岩区)

今年の4月に上の子が一年生になり、小学校生活が始まりました。早起きの苦手な娘がちゃんと起きて、学校に間に合うように行けるのだからかとても心配でした。でも学校生活が始まると娘は親の心配をよそに早くから準備をし、元気に登校しています。下の娘は保育園の年中さんですが、お姉ちゃんを見習って毎朝早起きを頑張っている毎日です。

娘たちがここまで大きくなるまでには町からの助成制度や多くの支援があり、とても助かりました。このような制度は子育てをする私たち親にとってはありがたい制度なので、今後も継続して欲しいと思います。これからも阿賀町でのびのびと子育てをしていきたいと思っています。子ども達の成長を願っています。



娘たちの成長を願って…

阿賀町合併10年・津川開町400年記念式典

～歴史に学び、未来を拓こう～



阿賀町の小松、五泉市の小佐取などを含む。会津での戊辰戦争終結後、小川庄は越後府の所轄を経て、1869年(明治2年)に大部分が若松県の所轄となったこと等を話されました。

平成26年10月5日(日)、阿賀町文化福祉会館にて新潟、福島県両知事をはじめ国会議員、県議員、市町村長等多くの来賓の方々出席のもと盛大に式典が行われました。阿賀町一帯は、古くは小川庄(小河荘、小河庄とも)と呼ばれるようになり、1614(慶長19)年に津川城主となった蒲生忠知の時に津川を「町」と称してから400年の歴史を刻むことになりました。また、会津史学会会長 間島 勲氏の記念講演等が行われ、阿賀町一帯は、古くは小川庄と呼ばれその区域は阿賀町のほか、新発田市の赤谷滝谷、

9月定例会

提出された2件の請願

請願第5号

「学費と教育条件の公私間格差是正に向け、私立高等学校への私学助成の増額・拡充を求める意見書」の採択に関する請願
【請願趣旨】
私立高校は学費と教育条件において依然として公立との格差が生じています。こうした状況を是正するためには、国及び県が責任をもって私学助成の増額・拡充を図る必要があります。

全会一致で採択されました。

紹介議員 入倉 政盛
賛成議員 神田 八郎

請願第6号

政府による緊急の過剰米処理を求める請願

【請願趣旨】
主食のコメの需給と価格の安定を図るのは政府の重要な役割です。過剰基調が明確になっているいま、政府の責任で需給調整を行うのは当然のことであり、緊急に対策を実施することが求められます。

全会一致で採択されました。

紹介議員 宮澤 勝見
賛成議員 入倉 政盛